

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院分院腎センター内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間：2020年11月から2023年12月までに当院で嚢胞ドレナージを施行したADPKD患者

【研究課題名】

嚢胞感染の診断における嚢胞内容液の性状と組成の有用性の検討

【研究の目的・背景】

目的:常染色体優性多発性嚢胞腎（ADPKD）患者において、嚢胞内容液の性状および組成を解析し、新たな嚢胞感染症診断指標の可能性を探索する。

背景:ADPKDにおける嚢胞感染症は頻度の高い重篤な合併症であり、迅速で正確な診断が必要とされる。確定診断である嚢胞内容液の細菌培養は感度が低く、これまで臨床症状や炎症マーカー、各種画像診断を総合して診断が提唱されてきたが、それぞれの限界があり、新たな診断指標が求められている。

【研究期間】

2025.3.31 ～ 2027.3.31

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院分院において研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療記録、看護記録、薬歴、検査データなど

【虎の門病院分院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：虎の門病院分院腎センター内科・リウマチ膠原病科 澤 直樹

研究機関の長：分院長 竹内 靖博

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2025年12月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院分院 腎センター内科・リウマチ膠原病 澤直樹

電話 044-877-5111(代表)